

全道フットサル選手権2018(U-14の部)室蘭地区予選大会

開催要項

- 1 主 旨 北海道のフットサルの普及・振興のため、中学生年代のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的とし、本大会を実施する。
- 2 名 称 全道フットサル選手権2018(U-14の部)室蘭地区予選大会
- 3 主 催 室蘭地区サッカー協会
- 4 主 管 室蘭地区サッカー協会第3種委員会
- 5 期 日 2017年12月9日(土)・10日(日)
- 6 会 場 12月9日(土):東明中・室蘭西中
12月10日(日):室蘭西中
- 7 参加資格 (1)フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル3種」、または「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
 - ② 前項のチームに所属する2003年4月2日以降に生まれた選手であること。
男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。(2)サッカーチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「3種」、「4種」、または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
 - ② 前項のチームに所属する2003年4月2日以降に生まれた選手であること。
男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。(3)選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
(4)フットサル登録料(4,000円)を所属地区サッカー協会に納入完了していること。
- 8 参加チーム 室蘭西中・星蘭中・翔陽中・桜蘭中・東明中・室蘭SC・ジェネラーレ室蘭・虻田中
伊達中・北湘南・鷺別中・緑陽中・登別FC 計13チーム
- 9 大会形式 (1)1グループ3～4チームとして、A・B・C・Dの4グループで1次ラウンド(総当り戦)を行う。(Cグループは4チーム)
(2)決勝ラウンドは、1次ラウンド各グループから上位2チームが出場し、8チームのトーナメント方式で行う。
(3)3位決定戦は行わない。
(4)1次ラウンドの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。
勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ①チーム間の対戦成績
 - ②チーム間の得失点差
 - ③チーム間の総得点数
 - ④グループ内での総得失点差
 - ⑤グループ内での総得点数
 - ⑥PK方式(1チーム3名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より得点をあげるまで行う。)により決定する。
- 10 競技規則 大会実施年度、(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。
- 11 競技会規定 以下の項目については、本大会の規定を定める。
 - (1)使用球は、フットサル用4号ボールとする。
 - (2)交代要員の数は、7名以内とする。
 - (3)ベンチに入ることのできる人数は10名以内(交代要員7名、役員3名以内)とする。
 - (4)試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点でのスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
 - (5)ユニフォーム
 - ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を各試合に必ず携帯すること。
 - ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の番号のついたものを着用すること。

- ④ シャツの前面、背面に選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。
選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする(大会を通じて同一の番号で出場すること)。
- ⑥ その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」の則る。
- (6)靴 キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。
- (7)ピブス 交代要員は、競技者と異なる色のピブスを用意し、着用しなければならない。
- (8)試合時間は1次ラウンド・決勝ラウンドともに20分間(前後半各10分間)のランニングタイムとする。
また、ハーフタイムのインターバルは2分間とする(前半終了から後半開始前まで)。
ただし、決勝ラウンドの決勝のみ、16分間(前後半各8分間、ハーフタイムのインターバル3分間)のプレーイングタイムとする。
- (9)決勝ラウンドにおいて勝敗が決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。
ただし、決勝のみ6分(前後半各3分)のプレーイングタイムによる延長戦を行い、なお決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
- (10)タイムアウトは適用しない。
- 12 懲 罰 (1)地区・ブロック・全道の各大会は、懲罰規定上の同一競技会とみなし、大会終了時点で未消化の出場停止処分は、各大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
(2)本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
(3)本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
(4)予選リーグにおける警告は、決勝トーナメントに持ち越さない。
(5)その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員が決定する。
- 13 参 加 料 参加料3,000円
- 14 参 加 申 込 10月4日(水)に行われる監督会議で確認。
- 15 組 み 合 わ せ 10月4日(水)に行われる監督会議で確認。
- 16 帯同審判 参加するチームは公認フットサル審判員を1チームにつき1名帯同させること。
- 17 表 彰 (1)優勝・準優勝チームに表彰状を授与する。
及び表彰式 (2)表彰式は決勝戦終了後に試合会場で行う。
- 18 負傷及び (1)大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は事故の責任 各チームの責任において行うこととする。
- 19 そ の 他 (1)大会当日にメンバー表(ベンチ入りする選手・役員名を記載)を提出する。ただし、登録選手(12名)については、試合毎に入替えることはできない。
(2)選手の資格に関して不都合な行為があった場合、そのチームの出場を停止する。
(3)震災等、不測の事態が発生した場合には、3種委員会事務局で協議の上対処する。中断、中止、延期することがあることを留意すること。
(4)競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、摂取可能な飲料は「水のみ」とする。
(5)各チーム役員は、応援・選手控え場所における、自チーム選手の管理・指導を徹底すること。
(6)優勝チームは2018年2月に行われる全道フットサル選手権2018(U-14の部)への参加を義務づける。